



がんになつても人生は続きます。
早期診断・治療で治る可能性が高まり、
新薬の開発など治療の幅も広がってきました。
しかし、がんと生きる本人の不安や苦しみは消えません。
副作用が心身に影響を及ぼし、
治療の長期化が経済的な負担にもなっています。
コロナ禍で誰にも相談できず孤立している人も少なくありません。
二人に一人ががんにかかる時代。
誰もがなりうる病とどう向き合い、
支え合い生きるのかを考えていきます。

愛知発オンラインフォーラム **がんと生きる** ～こころとからだ 私らしく～



2021年 **6月27日(日)**

開演(配信)：午後1時30分 終演：午後4時10分(予定) ※途中休憩あり

※インターネットによるライブ配信です



題字 / 延哲也 イラスト / 天野初音 レイアウト/ハナデザイン



愛知発オンラインフォーラム

がんと生きる

～こころとからだ 私らしく～



パネリスト

ほった ともみつ

堀田 知光

公益財団法人がん研究振興財团 理事長、
国立研究開発法人
国立がん研究センター 名誉総長



パネリスト

みしま ひでゆき

三嶋 秀行

愛知医科大学教授・
がんセンター長



パネリスト

おおしま やすのり

大島 康徳

元プロ野球選手、
プロ野球解説者



パネリスト

はない みき

花井 美紀

NPO法人ミーネット
理事長

1969年名古屋大学医学部卒業後、同大学医学部第一内科で臨床を重ねる。東海大学教授を経て、2006年より名古屋医療センター院長に就任。患者・家族に向かう“チーム医療”的実践に力を注いできた。2012年には国立がん研究センター理事長に就任。最先端のがん研究やがん医療を推し進めるとともに、“患者の人生そのものに寄り添う支援”にも尽力し、「がんサバイバーシップ支援研究部」を新たに発足させた。2018年より現職。2020年には自らも十二指腸がんに罹患。患者としての思いも伝え続ける日本がん対策の第一人者。

1984年大阪大学卒業。同大学第2外科に入局。大阪医療センター外科医長、臨床腫瘍科長などを経て、2012年に愛知医科大学教授。現在、同大学病院副院長兼がんセンター、臨床腫瘍センター、臨床研究支援センター部長、ゲノム医療センター副部長。専門は消化器がんの薬物療法、ゲノム診療と診療相談。診療相談では担当医と患者の意識の差を埋める役割を担当、診察室での患者・家族との対話を特に大切にし、医療的なエビデンスだけに捉われず、その人の暮らしや人生にあわせた最適な治療を提案している。

大分県生まれ。1968年中日ドラゴンズに入団。1983年に本塁打王を獲得するなど主軸選手として活躍。1988年日本ハムファイターズへ移籍。1990年通算2000本安打を達成。1994年に現役引退。引退後は解説者・指導者となる。2000年から2002年まで日本ハムファイターズ監督。2006年WBC日本代表チームの打撃コーチとして優勝に貢献。2016年に大腸癌(ステージ4)と転移性肝臓癌が発覚。同年11月に大腸癌切除手術を受ける。現在は抗がん剤治療を受けながら、プロ野球解説者の仕事、がん体験を語る講演活動を続けている。日本プロ野球名球会会員。

1988年、がん患者の父に、がんを非告知のまま看取る。のちに、父が自分はがんと知っているながら知らないふりをして旅立ったことが判明。患者と家族が、がんを正しく知り、がんと向き合うことの大切さを痛感し、がん患者・家族支援活動を始める。がんのピアソーターの養成、名古屋市との協働による「名古屋市がん相談情報サロン・ピアネット」の運営、愛知県内21のがん診療連携拠点病院での院内ピアサポート活動などに取り組む。

ほか



コーディネーター

まちなが としお

町永 俊雄

福祉ジャーナリスト

1971年NHK入局。「おはようジャーナル」キャスターとして教育、健康、福祉といった生活に関わる情報番組を担当。2004年からは「福祉ネットワーク」キャスターとして、うつ、認知症、自殺対策などの現代の福祉をテーマに、共生社会の在り方をめぐり各地でシンポジウムを開催。現在は、フリーの福祉ジャーナリストとして活動を続けている。

◆ プログラム

開演(配信):午後1時30分 終演:午後4時10分(予定)

第1部 スペシャル対談

“大島 康徳(元プロ野球選手、プロ野球解説者) × 町永 俊雄(福祉ジャーナリスト)”

「がんになっても人生フルスイング」

休憩

第2部 パネルディスカッション

- ・ “がん情報”を味方にする
- ・ “寄り添う”ってなんだろう?



愛知県名古屋市「ウインクあいち」より
配信します。



愛知県産業労働センター「ウインクあいち」は、
「中小企業の経営・創業支援」「国際ビジネス支援」
「新たな雇用の創出促進」など、
多様な産業労働支援を図るために拠点として誕生しました。

◆ オンラインフォーラム 「がんと生きる」今後の予定

◆2021年11月7日(日) 北海道発

◆2022年1月下旬 京都発

※今後の新型コロナウィルス感染症の拡大状況により変更が生じる場合がございます。

◆ 問い合わせ

NHK厚生文化事業団「がんオンラインフォーラム」係
電話 03-5728-6633 (平日 午前10時~午後5時)



イラスト提供
天野 初音さん

「私の住む愛知県豊田市の北東部に位置する香嵐渓は春になると枯葉の森が赤紫のシフォンを纏ったかのようにカタクリの花が咲きます。大半を地下で休眠した後に開く花びらに、長く辛い抗がん剤治療を終えた自分を重ね合わせます。現在は就労支援という形で患者さんが花開くお手伝いをしています。」